

授業科目 評価学演習Ⅰ

【担当教員名】 古　　西　　勇		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60（基本評価A：20）
【概要・一般目標：G10】 専門基礎分野で修得したことを基礎として、各種検査測定法の応用に慣れ、代表的な領域（骨関節疾患や中枢神経障害など）を想定した検査測定評価の「思考」と「技術」を修得する。					
【学習目標】 1. 各種検査測定法と疾患別の全身状態・局所所見の基礎知識を確認し、応用に慣れる。 2. 代表的な領域（大腿骨頸部骨折と脳血管障害）を想定して専門用語に慣れる。 3. 必要な情報や検査測定項目を列挙し、その実施計画を立て、それを実施するまでの検査測定評価の流れを模倣する。 4. 情報と検査測定結果を結びつけて統合と解釈を行い記述することを模倣する。 5. 解釈に基づいて、問題点を列挙し、目標や治療プログラムを立案することを模倣する。 6. 評価の記録を模倣する。 7. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	各種検査測定法と疾患別の全身状態・局所所見			1	小テスト・演習　古西
2	各種検査測定法の応用、大腿骨頸部骨折を想定した検査測定			2, 3, 7	演習（グループ）古西
3	"			2, 5, 7	演習（グループ）古西
4	大腿骨頸部骨折を想定した症例検討			4, 5, 7	演習（グループ）古西
5	"			4, 5, 7	演習（グループ）古西
6	各種検査測定法の応用、脳血管障害を想定した検査測定			2, 5, 7	演習（グループ）古西
7	"			2, 5, 7	演習（グループ）古西
8	脳血管障害を想定した症例検討			4, 5, 7	演習（グループ）古西
9	"			4, 5, 7	演習（グループ）古西
10	評価の記録			6, 7	演習（グループ）古西
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		診察と手技がみえるvol.1　第2版	編集　古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
		新・徒手筋力検査法　第8版 (もう1冊、後日指定)	Hislop HJ　他	協同医書出版社	2008・7,875円
参考書		ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭　他	南山堂	2004・7,560円
		理学療法評価学　第2版	松澤正	金原出版	2004・6,510円
その他の資料					
【評価方法】 出席、毎回の提出物、実技試験、定期試験（筆記）、その他。			【履修上の留意点】		